

PCR検査をめぐる動き

コロナと差別を越えて

政策調査室 大野 博美

なかなか増えないPCR検査

日本では今も、感染者が見つければ、保健所が感染者の行動半径をトレース(追跡)して濃厚接触者を見つけ出し、PCR検査(行政検査)を実施して

います。それ以外は無料の行政検査は受けられません。しかし、4月以降、感染経路不明のケースが多発しており、この方式は機能不全に陥っています。

8月17日、ようやく厚労省は「感染者が多発している地域では、感染者が出ていない医療施設や高齢者施設でも、希望すれば職員や新規入所者は行政検査を受けられる」と新たな通知を出しました。

一歩前進ですが、医療施設や高齢者施設だけでなく、消防署や学校など、社会的に不可欠な施設も対象に入れるべきであり、更に、施設丸ごと一斉検査とすべきです。

施設や地域を丸ごと無料で一斉検査するのが「社会的検査」です。これに熱心に取り組んでいるのが世田谷区長の保坂展人さん。世田谷区では9月中旬から、介護施設職員や保育士など約23,000人を対象に、無料でPCR検査を始めました。検査能力を1日最大3600件から、1日3,000件にまで拡大し、誰でも、必要なときに検査を受けられる「世田谷モデル」を目指しています。全自動PCR検査装置や、5人分の検体を混ぜて一度に検

世田谷区長の挑戦

査する「プール方式」で、検体数は飛躍的に増やせます。保坂さんが提唱した唾液を使う簡便な検査方式は、今や厚労省も推奨しています。

9月4日、厚労省はビックリの通知を都道府県に出しました。インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備え、両方の検査を一度に受けられるよう、10月中旬に体制を整えよ、というものです。発熱した人は、まず地元の診療所等に電話で相談。案内された医療機関で両方の検査を受けます。問題は、インフルエンザの検査は鼻咽頭に綿棒を差し込む方式なので、コロナと一緒に検査する場合は、医師は防護服等感染防止対策を徹底しなければなりません。逆に、コロナだけ検査していた医院は、唾液方式だと患者に直接接しないので、感染防止対策は要りません。

両方やする場合だけ、感染対策が必要となり、整備するには費用も時間もかかります。逆行するような厚労省の通知は、現場を混乱させるだけではないでしょうか。しかし、唾液でコロナもインフルエンザも検査できる装置が開発されたというニュースもあり、今後を見守りたいと思います。

自助・共助・公助

新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから7カ月。いまだに感染者に対する差別は根強く残っています。陽性と判明

すれば「コロナ出て行け」など、心無い言葉を浴びせられるケースが後を絶ちません。これを助長するような発言が自民党総裁選でありました。菅義偉氏が強調する「自助」です。「まずは自分で出来ることは自分でやる」。極端かもしれませんが、これは「コロナに罹るのも自己責任」と言っているように感じます。差別をなくすには、「誰でもコロナに罹りえる。誰でも助けてもらえる」という「公助」の概念を社会的常識にする必要があります。

コロナとインフルエンザ、同時流行?

住民の命を守るために、PCR検査拡大という「公助」拡大に奮闘する保坂さん。その「世田谷モデル」に、コロナと差別を乗り越える力ギが隠れているのではないのでしょうか。

※この記事は9月22日現在の情報で書いたものです。

2020年8月8日開催したオンライン学習会「新型コロナウイルスに自治体はどう立ち向かうか」



学習会の動画はこちらでご覧いただけます

保坂世田谷区長



森田県政を検証する

千葉県議会議員 伊藤とし子

昨年の台風15号対応では、リーダーシップなき森田県政の姿を露呈。「良きに計らえ」と長年、職員任せにしてきたツケは、行政サービスの低下につながっていました。2月議会で一連の不祥事の責任を取るとして、知事給与2,465万円からわずか83.4万円をカットしただけで幕引きを図りました。

630万人県民の命と財産を守る自覚は?

台風15号対応で防災対策本部を立ち上げたのは、台風上陸から丸一日経過後で、現地視察は5日後でした。ところが芝山の自宅行、東京での散髪と、私的な行動を優先していたことが露見。さらに、知事へ連絡が取れたのは秘書室と特別秘書のみという事実、危機管理能力が問われました。

そこで、知事に連絡が取れなくても防災危機管理部長が対応できるように指揮系統を補強。遅ればせながら幹部職員が知事と携帯でつながりました。

反省は生かせるか?

「他人事対応」が横行していた千葉県。被災した自治体に、ブルーシートを遠方まで取りに行かせたり、多数の非常用発電機が県備蓄倉庫に眠っていたりと、対応の拙さが問題になりました。

長期停電の解決策として、東電と「災害時における連携協定」をやっと7月末に締結。さらに、平常時から自治体毎に担当連絡担当を決め、防災情報システムの運用の見直し、防災資機材の在庫管理システム導入など対策中です。

コロナ対応

緊急事態による飲食業、サービス業等への休業要請の解除後も中小企業全体への影響は深刻で、生活がひっ迫している世帯が急増しています。国の1次・2次補正総額60兆円の支援策も必要なところに迅速に対応できていません。しかも、アベノマスク全戸配布に500億円、持続化給付金事業の手数料に20億円、感染拡大中の「Go To トラベル」1兆7千億円に至っては批判噴出。ところが千葉県知事は「Welcome to 千葉」と大歓迎を示しました。

独自路線でコロナ禍を打ち破れ

和歌山県では、2月に発覚した病院での感染後、接触者全員検査を行い、クラスターを制圧。現在は県内のクリニックで早期に感染者を発見するシステムを構築しています。長崎県では、長崎市・佐世保市と医師会が協力して、かかりつけ医で無症状でもPCR検査を受ける体制を拡充しています。

保健所は人員・予算とも不十分な中、PCR検査、陽性者追跡、入院患者の割り振りや業務が増大して、パンク寸前です。医師会と連携しながら、保健所の業務を分散する、また、エッセンシャルワーカー(医療・介護従事者など必要不可欠な労働者)を定期的に検査して、社会機能を維持していく等、県主導で出来る事はたくさんあります。「すべてお国の言う通り」は返すべきです。

びっくり 県政だより



伊藤とし子
佐倉市・酒々井町選出
県議会議員

休日に発熱したら、
打つ手なし!!

7月の連休中に「家族が発熱して、コールセンターに20回以上もかけているけど、繋がらない。」というケースが

育鵬社 またもや採択した 千葉県教育委員会!

ちば・戦争体験を伝える会 市川まり子



育鵬社の教科書は図書館で読むことができます

子どもに手渡したい教科書

新学習指導要領の下、来年度から使用される中学校の教科書採択が、この夏、全国で一斉に行われた。戦前回帰の考え方を勧める育鵬社版の歴史・公民教科書を選び続けてきた東京都、愛媛県、藤沢市、横浜市が、今回相次いで別社の教科書を採択した。「子どもに手渡したい教科書」の採択を求める弛まない運動が功を奏したのではない。地域の教育関係者や保護者・市民は、教育委員会の正常化と採択手続きの適正化を求め続けてきたのだ。

千葉県の採択手続きは異常

ところが千葉県では8月19日の教育委員会会議で、県立中学2校（千葉中と東葛飾中）の歴史・公民教科書について、「育鵬社版」が採択された。

2015年の採択では、歴史・公民教科書のみを採択会議前に1社に絞り込み、事務局案として表決した経緯がある。この異常な採択手続きを市民は批判し、長く追及し続けた。

そこで今回は、千葉中と東葛飾中に分けて、選定審議会で全教科を1社に絞って答申し、一括表決としたのだ。6名の教育委員の中でただ一人歴史・公民について他社の教科書を推す発言があったが、無記名の投票により5対1で、育鵬社版歴史・公民を含む全教科が原案通り2校それぞれで採択された。

育鵬社の歴史教科書は、国際社会で通用する歴史認識を育むことができないものであり、公民教科書は、民主主義社会の担い手である主権者を育てるには適しているとは思えないものである。教育委員会は、選定の不当性を繕う資料を取りそろえ、これらを選んでしまった責任をどう取るのだろうか。またもや繰り返された異常な採択に、県民が声をそろえて異議申し立てをしよう!

目の丸オスプレイがやってきた

陸上自衛隊の17機のオスプレイのうち、最初の2機が7月10日、16日に木更津基地に「暫定」配備されました。初めて目にする胴体に日の丸をつけたオスプレイが着陸する様子は衝撃的でした。

気象レーダーを搭載できないオスプレイは「悪天候」では飛行ができません。今回の岩国基地から木更津への飛来も、強力な雨雲に阻まれて2回も予定を延期したのです。

木更津基地は日米オスプレイの拠点に?

この2機は、9月より木更津基地周辺で、11月からは範囲を拡大しての試験飛行を行うと説明されています。本来の配備先とされる佐賀空港の整備が全く進んでいない中、全17機が2022年3月末までに木更津に配備され、頻繁な訓練を行う予定です。さらに、2017年から始まったオスプレイの「整備拠点」機能は、米軍機「7機」へと大幅に強化されます。今後木更津基地には最大で24機もの日米のオスプレイが存在することになります。木更津市周辺及び千葉県の上空を、アメリカでは都市部上空での飛行が禁止されている、欠陥機オスプレイが飛び回るということです。

「青天井」のオスプレイ費用

事故率も高く、悪天候で飛ぶことができないオスプレイを、政府が説明する「南西諸島防衛」だの「災害救援」だのに使うことはできません。こんなものにすでに3,600億円以上が費やされ、今後20年間で4,600億円以上の整備費用が発生します。同型の海兵隊のオスプレイ24機は、5年間で2機が墜落大破・3名死亡、また8機が新品に交換されています。陸自でも同じような事態があり得ます。危険性と税金の無駄遣いがオスプレイの本当の姿です。

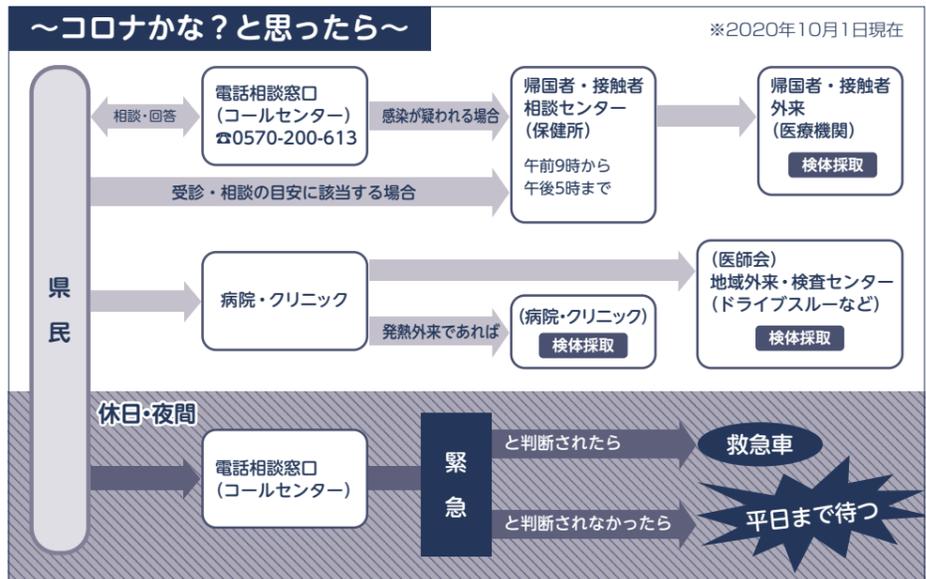
住宅密集地に位置する習志野演習場での陸自オスプレイの訓練は確定しています。地元の船橋市、八千代市、習志野市では「オスプレイいらない!」の市民のネットワークが立ち上がりました。どこの自治体もこうした安全保障の問題には及び腰です。主権者であり納税者である私たち市民の声と力の結集が求められています。

政策調査室長 吉沢 弘志

来ました。休日当番医は対応できず、保健所はコールセンター経由でしか受け付けず、休日夜間救急診療所ではコロナ対応はせず。丸一日てんやわんやした挙句、21時すぎにやっとコールセンターに繋がりました。しかしそこでの対応は「かかりつけ医に行ってください」というものでした。救急対応するまでではない、と判断したのでしよう。コールセンターに迅速に相談できていれば、丸一日の騒動もなかったはず。翌日は連休中の土曜日。コロナ対応の医療機関を探して、電話で問診。都内の職場で他にも発熱者がいたため、唾液でのPCR検査を受けることができた、保健所へも行動

記録をファックスで送付。すべてリモート対応で完了しました。結果は、月曜日午前中、電話で「陰性」を確認しました。
コールセンターはつながらない
コールセンターは、24時間365日対応する県の委託事業です。保健所が電話対応でパンクするため、コールセンターで相談を受け付けて割り振っています。6月までは昼間は7回線に対応。相談者が減ったため、7月5回線に減らしたとたん、再び増加して繋がらなくなりました。8月から休日のみ7回線に戻りましたが、県保健所管内500万人を7回線で対応するのは、船橋市64万人

10回線対応と比べても少なすぎます。夜間は2回線対応ですが、接触者外来（医療機関）が夜間対応できないため、「緊急と判断したら救急要請」、それ以外は「翌日、日中に接触者相談センターへ電話するように」と対応マニュアルにはあります。さらに、千葉県のコールセンターは0570で始まるナビダイヤルで、待ち時間中であっても26秒ごとに10円かかります。全国の大部分の相談センターは0120の無料ダイヤルか、普通番号です。委託事業者任せの問題点は、こんなところにも出ています。



オンライン学習会
命を守る災害対策とは
～滋賀県流域治水条例～
講師 嘉田由紀子 (参議院議員・元滋賀県知事)
日時 10月31日(土) 13:30～15:00 定員 100人
Zoomウェビナーによる学習会で、事前申し込みが必要です
▶お申し込みは、市民ネットワーク千葉県HPからどうぞ
参加費 無料

傍聴記 不思議な県議会
県議会にはなかなか行く機会がなく、6月19日、ようやく伊藤さんの年1回の一般質問の傍聴に出かけた。傍聴席には筆記用具以外は持ち込めない、という規則に驚き、次に「ストールは外してください。」と言われてびっくり。その日は黒のチャイナに合わせて生成りの短いスカーフをしていたのだが、冷房対策と言っても、訳も言わずにダメと言われ、時間に迫られ仕方なく外した。身に着けているものを無理やりはがされた気分が不快だった。
傍聴規則第13条4には「帽子、外とう、えり巻の類を着用しないこと。」とあり、理由は書かれていない。昭和37年議会告示とあり、古色蒼然の感がある。ちなみに千葉市議会では、これまでそんなことはなかった。私たちの県議会なのだから、一人でも多くの県民が傍聴に来やすいよう、規則見直しをしてほしい。熱中症対策に水は持ち込めないのか等も、気になるところである。
さて肝心の質疑が始まり、不思議だったのは、答弁者がいちいち自席から真ん中の席に出てくる。その出入りの時間のもったいないこと。各席にマイクを置いてそこで答えることはできないのだろうか。そして唯一持ち込んだノートだが、形式的な答弁ばかりで、記録するべき事がほとんど無い事にも驚いた。具体的に建設的な答弁を聞きたかった!
市民ネットワーク花見川 宮田 敬子

各ネット連絡先	
市民ネットワーク・のだ ☎04-7123-6981	市民ネットワークちば ☎043-379-4958
市民ネットワーク・かしわ ☎080-7628-7737	市民ネットワークみはま ☎043-278-5005
市民ネットワーク・ふなばし ☎047-426-8321	市民ネットワークわかば ☎043-284-2339
さくら・市民ネットワーク ☎043-462-0618	市民ネットワーク中央 ☎043-379-4958
よつかいどう市民ネットワーク ☎043-304-3823	市民ネットワークいなげ ☎043-379-4958
きさらづ市民ネットワーク ☎0438-36-0677	市民ネットワークいなが ☎043-379-4958
	市民ネットワーク花見川 ☎043-379-4958
	市民ネットワークみどり ☎043-379-4958